



Type	有効寸法	外形寸法
TYPE-1	W400 × L450 × H400	W850 × L850 × H850
TYPE-2	W600 × L650 × H600	W1050 × L1050 × H1050
TYPE-3	W800 × L850 × H800	W1250 × L1250 × H1250
TYPE-4	W1000 × L1050 × H1000	W1450 × L1450 × H1450

遮音量（透過損失）単位 dB								
Hz	63	125	250	500	1K	2K	4K	8K
遮音量保証値	(34)	39	43	51	55	63	64	62
遮音量実測値	46.2	44.9	44.7	61.8	64.1	71.7	75.6	80.1

仕様

- ・専用ベース（高さ変更可能）
- ・除振パッド×4点支持
- ・吸音層：AST吸音材＋背面吸音層
- ・ダブルシールド遮音ドア：外周吸音式
- ・ユーティリティパイプ：内径55×2箇所
- ・吊りフックM8×4個
- ・試料テーブル：スチール製 t4.5（吸音マット付）
- ・密閉ハンドル、操作取手
- ・ダイカストリーフヒンジ
- ・アジャスター、キャスター
- ・アイボルトM20-24
- ・焼付塗装：標準色（シルバー）or指定色

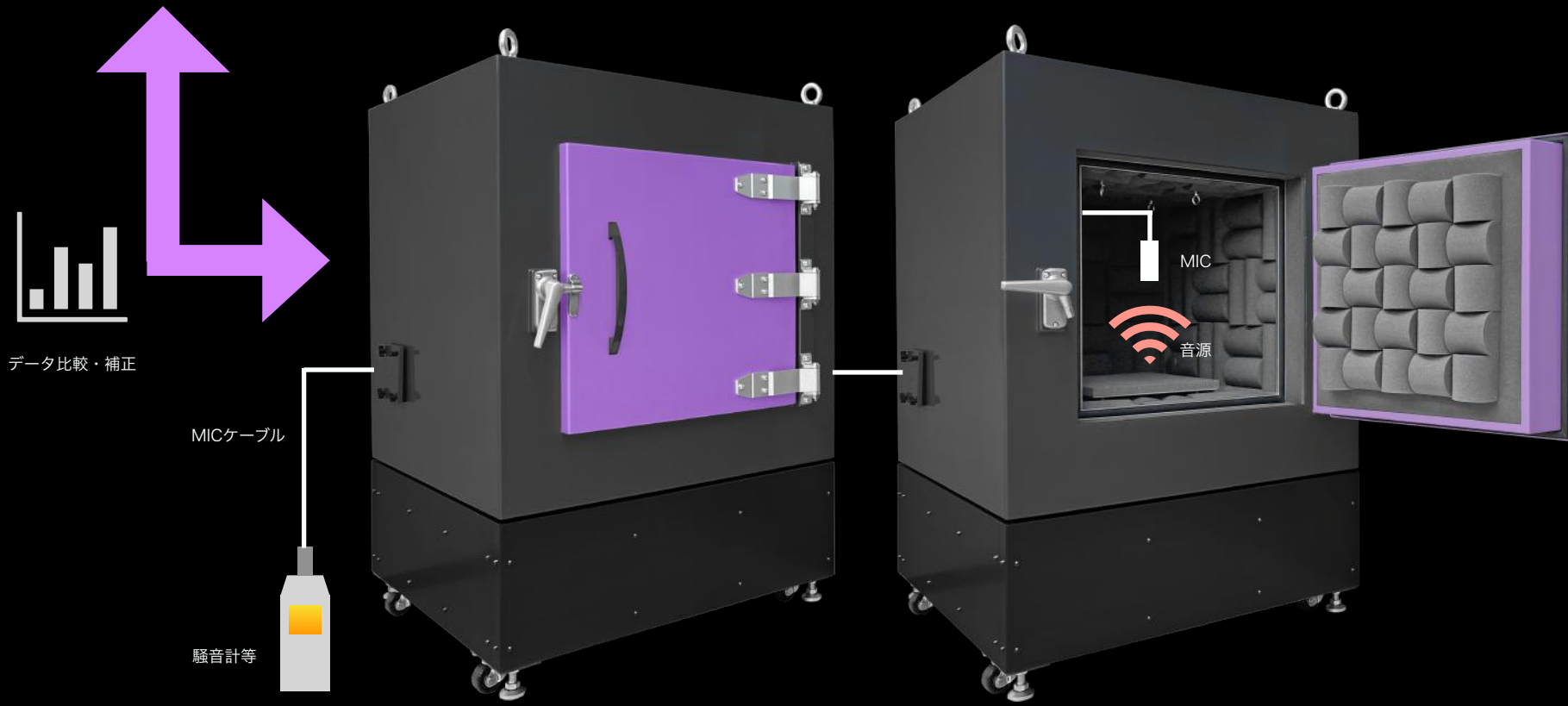


無響室・防音室メーカー
ソノーラテクノロジー株式会社

■東京本社営業所 東京都世田谷区成城2-40-5-2F
TEL: 03-6806-8988 / FAX: 03-6740-7875
E-mail: sonora@soundenvironment.jp



無響箱の使用例： 研究開発者が自分のデスクのすぐ横に、無響室と同レベルの遮音性能を確保した箱を設置する事で、無響室で取得した**マスターデータとの相関**を素早く確認することを目的としています。無響室と併用する事で研究開発の効率化が図れるが、容積と吸音層の厚みが無響室とは大幅に異なる為、低周波域のデータが異なります。無響室で取得したデータとのレベル差を補正值として、無響箱で測定したレベルに補正する事が可能。無響室とは異なり、規格や明確な基準がない為、あくまでも補助、簡素な目的での使用に向いています。



スライディングテーブル



扉追加、ユーティリティパイプ追加



照明、マイク用クランプ、天井メッシュ、内装不燃化

オプション追加例



特寸、脱着式アジャスター、キャスター



カップリング式



試料、ジグに合わせたテーブル加工